

おわりに

2040年には、少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化の深刻化、産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需給ギャップにより地域の経済社会を支えるエッセンシャルワーカーや理系人材の不足の可能性などが指摘されている。

2025年11月に示された文部科学省の「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン（仮称））骨子」には、2040年問題に対応するために、「A Iに代替されない能力や個性の伸長」、「経済・社会の発展を支える人材育成」、「多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保」の3つの視点の下で教育改革に取り組む必要があることとあわせて、専門高校の機能化・高度化の必要性が示されている。

愛知県では、専門高校において、専門分野の基礎的・基本的な知識・技術をしつかりと身に付け、社会に貢献できる人材育成に取り組むとともに、「マイスターハイスクール」（次世代地域産業人材育成刷新事業）や「高等学校D X加速化推進事業」（D Xハイスクール）などの国の研究事業に積極的に取り組み、産業教育の高度化に取り組んできた。また、農業科・家庭科のフレキシブルハイスクール²⁰の開校に続けて、高度ものづくり型の中高一貫校²¹や県立高等専門学校の設置に向けた準備など、将来職業人を目指す小中学生にも多様な学びの場を創出する取組を全国に先駆けて進めているところである。本県は我が国有数の産業県として、産業教育の発展に資する新たな方策を創出することで、他県を牽引する役割を担っている。

愛知県教育委員会においては、本答申で示した方策の進捗状況について、随時検証しながら確実に遂行していくとともに、産・学・官がより一層の連携を図り、日本をリードする次世代の担い手を育成するための産業教育の充実に努めていくことを強く期待する。

²⁰フレキシブルハイスクール：全日制・定時制・通信制を1つの学校に設置し、興味・関心に合わせて科目を選択できる学校。

²¹ 高度ものづくり型の中高一貫校：中学校段階からものづくりに触れ、AIやデータサイエンスに興味・関心を持つ生徒の能力、可能性を引き出すため工業高校に設置。